



高円宮杯 2013ホッケー日本リーグ【女子】最終節 第1日

開催日時 5月24日(金) 会場 日光市ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 13:00	ソニーHC BRAVIA Ladies 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 南都銀行 SHOOTING STARS
第2試合 14:40	グラクソ・スミスクライン 1 $\begin{pmatrix} 1 & - & 5 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 7 コカ・コーラウエストレッドスパークス
第3試合	0 $\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$ 0
第4試合	0 $\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$ 0

【各試合の結果・詳細】

第1試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 南都銀行 SHOOTING STARS

勝点 34
11 勝 1 分 0 敗

勝点 25
8 勝 1 分 3 敗

<得点>

SONY : 40分林、53分中島

南都銀行 : 44分植田

<戦評>

最終節、栃木シリーズ初戦は南都銀行SHOOTING STARSのセンターパスで開始された。立ち上がりからやや攻勢に試合を進めるソニーHC BRAVIA Ladiesは、再三南都銀行ゴール前に攻め込むが、決定打を欠き得点することが出来ない。南都銀行もGK金剛を中心とする堅い守りから攻撃に転じるも、中盤でのパスがつかずチャンスをつかむまでには至らない。SONYは前半5本のPCを取得するも得点することが出来ず、両チーム無得点のまま前半を折り返した。
後半に入ると試合は動いた。40分、SONYはPCからFB#2林が左隅に決めて先制すると、南都銀行も44分FW#7植田が右からのパスに反応してタッチシュートを決め、たちまち同点とした。攻守が激しく入れ替わる中、SONYは53分PCからFW#10中島がタッチシュートを決めて再び勝ち越した。残り時間が迫るなか白熱したプレーを互いに繰り広げ、食い下がる南都銀行の反撃を退け、SONYが2-1で逃げ切った。

テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	若林 美枝、星 めぐみ		野澤 茂

第2試合

グラクソ・スミスクライン 1 $\begin{pmatrix} 1 & - & 5 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 7 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 22
7 勝 1 分 4 敗

勝点 34
11 勝 1 分 0 敗

<得点>

グラクソ : 32分大石

コカ・コーラ : 5分李、17分李、18分金、26分加藤、34分小野、60分新井、63分西村

<戦評>

首位を走るコカ・コーラウエストレッドスパークスと、地元開催で勝ち点の上積みを狙いたいグラクソ・スミスクラインの対戦は、グラクソのバックパスで開始された。試合開始直後から中盤を支配するCCWRは立て続けにPCを獲得し、5分PCからFB#18李が決め先制した。17分にもPCから再びFB#18李がストレートで右下に決めると18分にはFW#16金が右45度からクリーンシュートを決め3-0とした。26分にもFW#13加藤がサークル手前でパスを受けると、左に切り込みながら押し込み追加点を挙げた。グラクソも32分、PCからFB#7大石がタッチシュートを決め追いつくが、直後の34分CCWRはPCからFB#8小野が右隅にストレートで決め5-1で前半を折り返した。
後半、反撃したいグラクソは、38分相手DFのトラップミスからPCを4本得るが、決めてを欠き得点することができない。CCWRは次第にペースを取り戻すと60分、右からのパスを受けたFW#9新井が左隅にクリーンシュートを決めた。更に63分には、MF#5西村がサークルトップから切り込んで押し込み7-1とした。グラクソはCCWRの前線からのプレッシャーで思うようにパスを繋ぐことが出来ず、CCWRが決定力の差を見せつける一戦であった。

テクニカルオフィサー	加藤 直美	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	星 めぐみ、若林 美枝		木下 英貴